### 【取組内容④】「校内研究授業におけるクラウドを活用した授業研究」

# 取組 ②

「Googleジャムボードによる授業研究シートの作成と活用」

- ・ 授業研究シートを白紙共有
- 付箋機能で「気付き」のアウトプット
- ・授業研究会は月1回(研究授業のたびではなく、まとめて行う)

# 成果

成果

〇時間と空間の調整不要

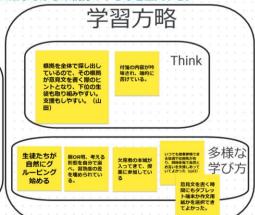
- 〇授業前・授業中・授業後のいつでもアウトプットが可能
- ○気付きを述べる(付箋記入)と同時に集約が可能 ⇒ そのまま記録・蓄積
- 〇未参観・未視聴の職員とも閲覧共有可能(追体験ができる)
- ○シートをもとに協議が進行 ⇒ 要点化と時短 ⇒ 集合型研修の回数が減

### 授業研究シート・・・「課題」「質問」のシートも作成

◎スライド2枚目…主に参観者が成果(良かった点・効果的な場面等)を付箋で示す。(※貼りながら系統分けするなど工夫する)

# 動機付け





#### 協議シート(スライド)……小グループ・全体で共有

#### 6班

DX的には「生徒一人一人が」学びのために使いこな すこと。デジタルで学びの在り方が変わること。

#### ①自律的な学習

## ②学びに向かう力

#### ノソル活用

- ・班単位で共通の課題 を解決する場合、平等 に自律的な学びは難しい…。(逆に理科の実 験は個人だと難しい)
- ・「教え合い」と一言 に言っても、平等な学 びは難しい...。
- ・デジタルも紙も準備 となると、教員の準備

- ・班単位の課題は下位層の生徒には有効。
- ・教え合う活動は、言語力の向上には有効。
- 各教科の評価の基準、材料が気になる。
- 準、材料が気になると ころ...。
- ・教科書の <sup>二次元コード</sup> 読み込んで活用してい

- 何を以て「デジタル 活用」とするのか。
- ・プリントをPDF化してテレビに映す(数学)セクション毎にスライドをまとめ、Retellの時間に、それを使って教員に説明する。蓄積には有効。数学のグラフは難しい、文字入